

社会教育・地域教育の推進

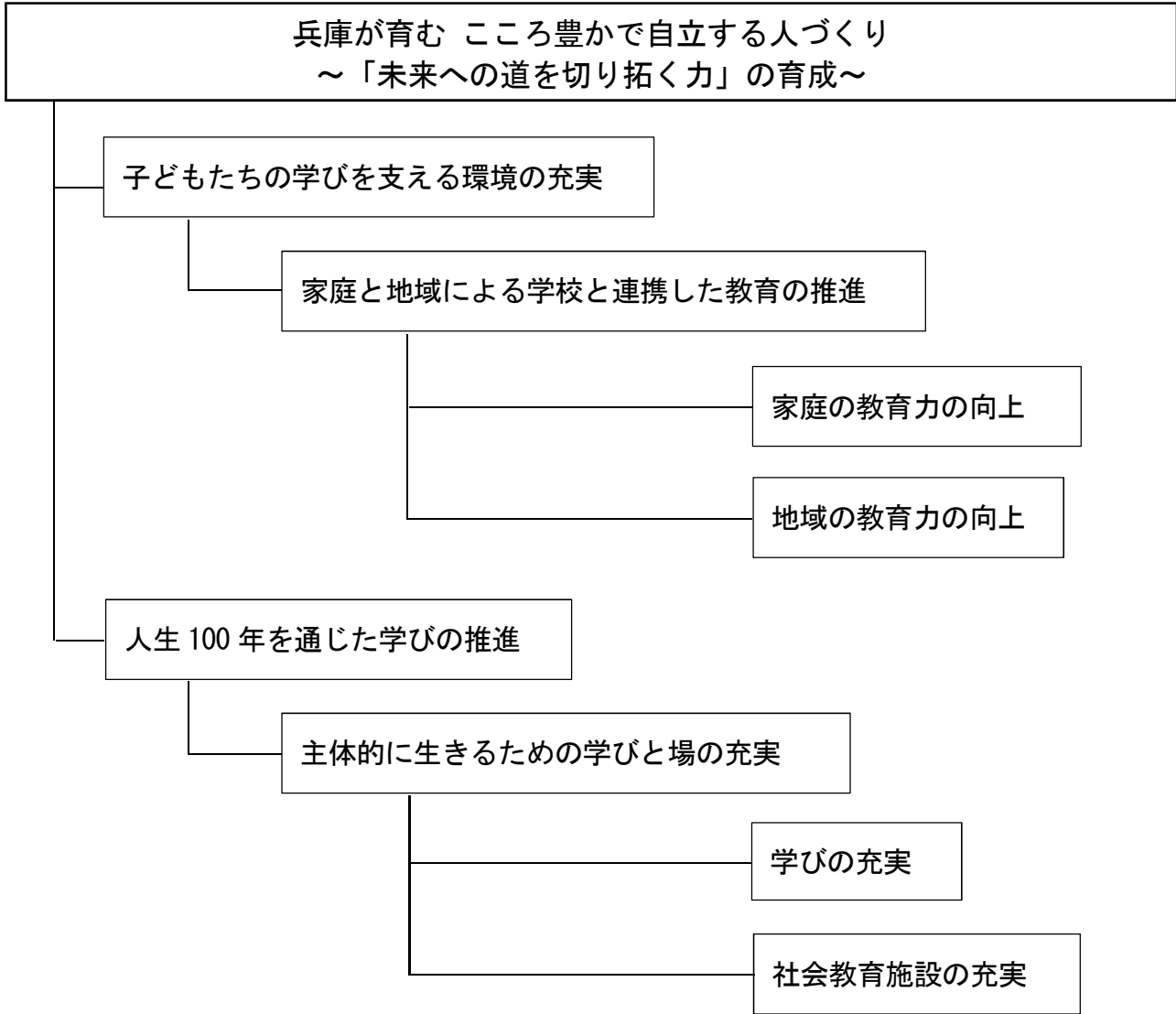
令和6年1月

兵庫県教育委員会
社会教育課

目 次

令和5年度 社会教育課施策体系表	3
家庭と地域による学校と連携した教育の推進	4
Ⅰ 家庭の教育力の向上	4
Ⅱ 地域の教育力の向上	7
主体的に生きるための学びと場の充実	11
Ⅰ 学びの充実	11
Ⅱ 社会教育施設の充実	19

令和5年度 社会教育課施策体系表



参考：社会教育行政における教育委員会と知事部局の役割分担

教育委員会と知事部局が一体となった生活文化行政を展開するため、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事部局に事務委任（地教行法 23 条）

教育委員会

- ・社会教育関係の人材育成
- ・社会教育施設の管理運営
- ・家庭・地域と学校との連携
（地域学校協働活動、PTA 活動支援等）
- ・その他
（人権教育、文化財の保存と活用に関する事業など）

知事部局

- ・青少年教育
- ・芸術文化
- ・女性教育
- ・高齢者教育
- ・家庭教育支援

1 家庭と地域による学校と連携した教育の推進

I 家庭の教育力の向上

親が親として成長するための学びを支援し、基本的な生活習慣、学習習慣の確立等、家庭教育の重要性について啓発する。

1 P T Aによる学校、家庭、地域の連携強化事業 2,716千円

P T Aを核として、地域住民の参画と協働を得て実施するP T C A活動を支援し、地域の子育てや子どもの安全・安心の確保等、地域ぐるみの教育支援活動の充実を図る。

(1) 各学校における取組

ア 家庭教育支援活動

- ・スマートフォン等によるネット・ゲーム依存やSNSによるトラブルなど、子どもを取り巻く教育課題について地域の関連団体と連携した講演会、学習会
- ・親子のふれ合いや地域住民との交流を目的とした各種イベント

イ 学校教育支援活動

- ・学校行事や校外学習等における地域の人材を活用した教育支援活動
- ・地域ぐるみの教育環境の整備（校区環境美化活動等）

ウ 子どもたちの安全・安心を守る活動

- ・地域ぐるみの子ども声かけ運動
- ・登下校における子どもの安全を守る防犯運動

(2) 地区別研究大会

各校種・地域ごとに優れたP T C A活動の取組内容を普及するための大会を開催

- ・市町立小中義務特別支援学校 8地区（阪神、北播磨、東播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路）
- ・公立高等学校 3地区（神戸、阪神、丹波）
- ・県立特別支援学校 1地区（全県）※オンラインで実施
- ・国公立幼稚園・認定こども園 2地区（東地区（阪神・但馬・丹波））、
（西地区（神戸・東播磨・西播磨））

(3) 全県研究大会

教育支援活動に関する好事例の共有や情報交換を行い、学校、家庭、地域の連携強化に向けた啓発を図るためにPTA団体が主催する研究大会の開催を支援する。

ア 市町立小中義務特別支援学校

- (ア) 期 日 令和5年12月23日（土）
- (イ) 会 場 明石市立市民会館
- (ウ) テーマ 健やかな子どもの成長を願い変化に対応するPTA活動
～育てよう！子どもの夢と生きる力～
- (エ) 内 容 講 演 子どもの可能性を伸ばす方法
講 師 大嶋 啓介 氏
実践発表 7ブロック（紙面発表）
- (オ) 参加者数 1,000名

イ 公立高等学校

- (ア) 期 日 令和5年12月2日（土）
- (イ) 会 場 淡路市立しづかホール
- (ウ) テーマ PTA活動の活性化と家庭・学校・地域の連携強化
～子どもたちがVUCA時代をしなやかな強さで生き抜くために～
- (エ) 内 容 講 演 潜在脳力の高め方
～答えのない未来を生き抜く知恵とコツ～
講 師 株式会社 脳レボ 代表取締役
一般社団法人 アスリートサポート 理事
川谷 潤太 氏
実践発表 ・ 県立夢野台高等学校PTA ・ 県立伊丹高等学校PTA
・ 県立柏原高等学校PTA
- (オ) 参加者数 470名

ウ 県立特別支援学校

- (ア) 期 日 令和5年9月19日（火） ※オンラインで実施
- (イ) 主 題 PTA活動の活性化と家庭・学校・地域の連携強化
- (ウ) 内 容 講 演 リエゾン—こどものこころ診療所—
～凸凹のためのおとなのこころがまえ～
講 師 社会医療法人恵風会高岡病院
児童精神科医 三木 崇弘 氏
実践発表 ・ 県立視覚特別支援学校PTA ・ 県立氷上特別支援学校PTA
・ 県立赤穂特別支援学校PTA
- (エ) 参加団体 27団体

(4) 優良PTAの顕彰（令和5年度優良PTA教育長表彰）

県内のPTAの健全な育成、発展に資するため、学校教育の支援や児童・生徒の健全な育成に取り組み、家庭や地域の教育力の向上に大きく実績をあげている県内の優れたPTAを表彰する。

・表彰団体（12団体：幼1、小中7、高3、特1）

明石市立山手幼稚園PTA、明石市立江井島小学校PTA、姫路市立昴野小学校PTA、新温泉町立浜坂西小学校PTA、西宮市立甲陵中学校PTA、たつの市立揖保川中学校PTA、丹波市立柏原中学校PTA、淡路市立岩屋中学校PTA、県立福崎高等学校PTA、県立浜坂高等学校PTA、県立津名高等学校PTA、県立播磨特別支援学校PTA

（主な表彰内容）

団体名	活動
明石市立山手幼稚園 PTA	地域の「やまてまつり」、「福祉フェスティバル」に模擬店を出店し、地域との交流を深めている。「できる人が、できる時に、できることを」の方針により、PTA 役員選出は立候補のみとし、PTA で行事を行う際は、事前にボランティアを募り実施している。園児と保護者を対象に人権講習会を実施し、校区の人権推進員の方から話を聞くことで、人権意識を高める活動に取り組んでいる。
明石市立江井島小学校 PTA	地域と連携し、校区内の見守り活動やあいさつ運動を行い、地域全体で子どもたちを見守り育てる意識の向上を図っている。小学4年生児童と保護者を対象に、「いのちと性」について講演会を実施し、妊婦体験や赤ちゃん抱っこ体験を通じて、正しい性の知識を学び、命の重みについて考える機会を提供している。また、運営の在り方を検討し、だれもができるPTAをめざして体制づくりに取り組んでいる。
丹波市立柏原中学校 PTA	交通指導・立ち番を実施し、生徒だけでなく地域の交通安全意識の向上に努めている。実効性を維持しつつPTA組織のスリム化に取り組んでいる。また、事業内容を見直すとともにSNSを活用し、部会等の連絡や事業計画の共有化を図ることで、会議の回数や事務作業が削減され、役員の負担軽減につながっている。
県立浜坂高等学校 PTA	地域住民や中学校、浜坂観光協会等と連携し、浜坂県民サンビーチと松林の清掃活動を実施している。地域の方や地元中学生とのつながりを深めるとともに、地域の自然を守ろうとする意識を高めている。人権講演会を実施し、ネットトラブルや薬物依存、生徒を取巻く課題について保護者と生徒が学びを深めている。また、役員会の回数や行事への参加体制を見直し、無理のないPTA活動をめざしている。
県立播磨特別支援学校 PTA	寄宿舎夏祭りでは、地域自治会と連携し、模擬店を実施したり、生徒が安心して楽しむことができるよう安全管理を行ったりして、生徒たちの夏の思い出づくりに協力している。また、PTA 学年間交流会を実施し、保護者同士で困りごと等を相談しあえる機会づくりに取り組んでいる。さらに、PTA 理事会の回数の削減や学校行事と同日に会議を開催することで、PTA 役員の負担軽減に取り組んでいる。

（参考）

令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰

芦屋市立宮川幼稚園PTA、神戸市立竜が台小学校PTA、丹波市立前山小学校PTA、神戸市立住吉中学校PTA、県立香住高等学校PTA

II 地域の教育力の向上

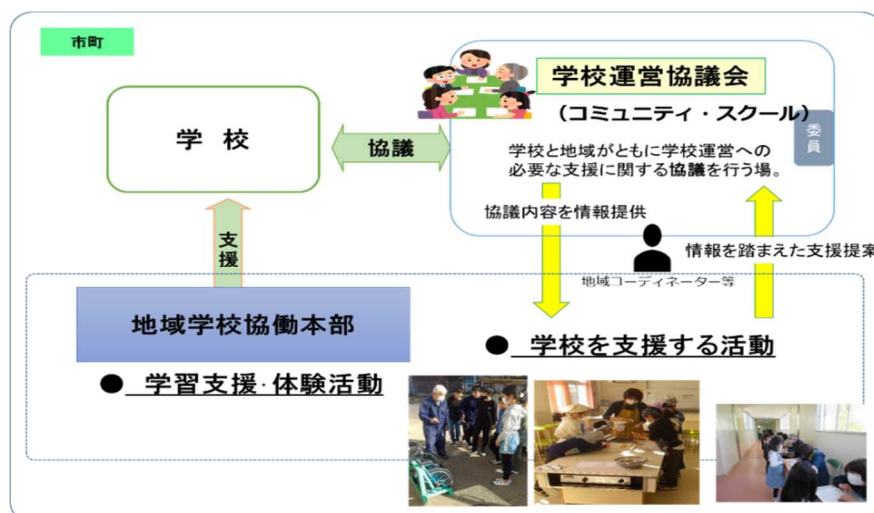
地域が主体的に学校運営に参画し効果的に学校を支援し、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりや学校からの積極的な情報発信を踏まえた地域と学校の緊密な連携等を図る。

1 地域と学校の連携・協働体制推進事業

67,749千円

社会教育法に基づき、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくため、地域学校協働活動を積極的に推進する。

また、「地域とともにある学校づくり」を進める学校運営協議会等との一体的な取組を推進し、地域全体の教育力の向上を図る。



(1) 体制の推進

ア コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置

学校運営の基本方針の承認、学校運営への意見具申等、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、それぞれの役割を明確化しながら連携・協働して子どもたちの成長を支える仕組みを構築する。

設置状況 334校（政令市・中核市を除く、市町立幼・小中義務・高・特
682校園中：49.0%）
24市町（36市町中：66.7%）

イ 地域学校協働本部（各学校区）の設置

地域住民、団体等の参画により、地域学校協働活動を推進する体制を構築し、地域による学校を支援する活動や地域における学習支援・体験活動等を推進する。

構成：学校、PTA、自治会、地域ボランティア等の関係者

設置状況 537校（政令市・中核市を除く、市町立小中義務552校中：97.3%）

<地域学校協働活動の具体的な活動>

(ア) 地域による学校を支援する活動

登下校見守り、放課後・夜間の見守り、休み時間の対応、補導時の対応、校内清掃、給食時の対応、授業の準備等学校以外の主体が学校を支援する活動

(イ) 地域における学習支援・体験活動

ふるさと学習や郷土の伝統・文化芸術学習や、宿題のサポート等学習支援（地域未来塾）、学習、スポーツ・文化活動、地域住民との交流（放課後子ども教室）等、地域人材の協力、知見や技能等を活用した活動

(2) 市町への支援

コミュニティ・スクールの導入を進めるとともに、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部が、一体となって取り組む地域学校協働活動の充実を図る。

ア 地域コーディネーター等（統括地域学校協働活動推進員等）の配置

役 割 地域学校協働活動等の連携についての調整、学校や学校関係者・地域の団体等との連絡調整等

配置人数 441人（政令市・中核市を除く）

イ 地域連携関係者研修

地域と学校の連携・協働の関係者が、地域と学校の連携・協働に関わる取組の現状と課題、人材の育成・資質向上についての幅広い知識や技能を身につけることにより、学校運営協議会等と地域学校協働活動の一体的な推進を図る。

(ア) 対 象 統括地域コーディネーター等、地域と学校の連携を担う者及びその関係者
市町行政関係者
学校関係者 等



グループワークの様子

(イ) 内 容

a 全県講座

「第1回」

期 日 令和5年10月24日（火）

場 所 神戸市教育会館 大ホール

テ ー マ コミュニティ・スクールを活用した地域学校協働活動の充実

実践発表 明石市教育委員会におけるコミュニティ・スクール導入に向けた取組

発 表 者 明石市教育委員会事務局学校教育課

コミュニティ・スクールコーディネーター 北本 章 氏

講義・グループワーク

地域学校協働活動の充実と地域とのつながりづくり

講 師 一般社団法人まなびのみなと 代表理事 取釜 宏行 氏

参 加 者 106名

「第2回」

期 日 令和6年2月

場 所 神戸市内

内 容 調整中

b 地区別講座（県下6地区）

- ・阪神地区（11/17～11/27 オンライン配信 100名）
- ・播磨東地区（1/12 県立教育研修所 50名）
- ・播磨西地区（12/8 姫路総合庁舎 50名）
- ・但馬地区（11/6 県立但馬文教府 30名）
- ・丹波地区（8/4 県立丹波の森公苑 50名）
- ・淡路地区（12/5 洲本総合庁舎 30名）

ウ 地域連携アドバイザー・文部科学省CSマイスターの派遣

コミュニティ・スクールの導入や地域学校協働活動についての助言を行う地域連携アドバイザーを市町及び県立学校に派遣し、「地域とともにある学校」づくりの推進を図る。(派遣回数 14回)

エ コミュニティ・スクールの導入推進及び活動の充実を図る実践研究

市町に委託して、既存コミュニティ・スクールの発展・拡充及び更なる導入に向けた調査研究を実施する。(委託市町 22市町)

(ア) 導入推進の取組

対象 コミュニティ・スクール未導入または一部のみ導入済みの市町

内容 コミュニティ・スクール未導入の学校における個別の課題等について検証し、コミュニティ・スクールの導入に向けた具体的方策を検討

(イ) 活動充実の取組

対象 コミュニティ・スクール導入済みの市町

内容 導入済みのコミュニティ・スクールにおいて、地域学校協働活動を活用した「社会に開かれた教育課程」や、学校や教員の課題・ニーズを踏まえた教員の働き方改革に資する活動の実施について、具体的な方策を検討

(3) 県立学校での取組

兵庫県版コミュニティ・スクール（地域連携強化校）の試行

県立学校が推進する特色ある教育を地域が支援する体制を構築するため、学校運営協議会（要項設置）における協議を基に、地域と連携した教育活動を実践する兵庫県版コミュニティ・スクール（地域連携強化校）を試行する。

○ 令和5年度試行校38校（高等学校27校、特別支援学校11校）

地区	高等学校	特別支援学校
神戸	東灘、兵庫工業	神戸聴覚
阪神	尼崎、西宮今津、伊丹西、宝塚	阪神
東播磨	明石南、高砂南、多可、社、小野工業（全）、小野工業（定）、錦城、西脇北	東はりま、いなみ野、北はりま
西播磨	姫路南、神崎、千種、姫路工業、赤穂（定）	姫路、姫路しらさぎ、播磨、西はりま
但馬	浜坂、村岡、生野	和田山
丹波	柏原、氷上西、篠山鳳鳴	氷上
淡路	淡路三原、淡路	

○ 主な活動内容

学校名	活動内容
東灘高等学校	地域文化の復活と伝承（75年前に途絶えた「深江音頭」の復活）、ドローンを活用した防災活動
播磨特別支援学校	販売実習「caféはりま、マックスバリュたつの店」
伊丹西高等学校	福祉施設における入所者とのモルックを通じた交流
村岡高等学校	学校設定教科「地域探求」、「総合的な探究の時間」の指導・支援
西はりま特別支援学校	「光都0円ストア」開催による地域住民との交流



西はりま特別支援学校：「光都0円ストア」
 (地域の方や地元企業とともに読み聞かせなど
 多様なイベントを実施)

主体的に生きるための学びと場の充実

I 学びの充実

人生100年を通じて、すべての県民が自らの人生を設計し活躍することができるよう、県民の学びや活躍の機会の充実を図る。

1 社会教育委員会議

1,086千円

本県における社会教育の振興・充実に資するため、必要な調査研究及び社会教育団体に対する補助金の審議を行う。

(1) 委員（任期2年）

学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者等 15名

(2) 社会教育委員会議の内容

ア 全体会議（年間2回開催）

審議テーマ（令和5～6年度）

「県立学校におけるコミュニティ・スクール（CS）の導入に向けて」

第1回 令和5年9月6日（水）

- ・令和5年度兵庫県社会教育委員会議の審議並びに専門部会の構成について
- ・審議テーマに関する協議

第2回 令和6年3月

- ・令和6年度社会教育・生涯学習関連新規事業について
- ・令和6年度社会教育関係団体に対する補助金について
- ・審議テーマに関する協議

イ 専門部会

審議テーマに関する調査・研究、協議を行う。

(ア) 第1部会（年間4回開催）

内 容 兵庫県社会教育委員協議会と連携を図り、市町における社会教育の実施状況を調査

(イ) 第2部会（年間1～2回開催）

内 容 審議テーマに関する審議報告の原案作成

(ウ) 第3部会（年間2回開催）

内 容 県内における先進事例の収集と調査・研究
東灘高等学校、西はりま特別支援学校を視察

2 社会教育関係職員等研修

社会教育の振興発展に寄与するため、県内の社会教育関係者が日頃の実践や研究の成果を発表し、情報交換を通して資質能力の向上を図る。

(1) 兵庫県社会教育委員協議会研修会

社会教育の振興・発展を図るため、市町の社会教育委員等を対象に、社会教育の課題や社会教育委員の役割、活動について協議を行う。

ア 兵庫県社会教育委員協議会総会及び研修会

(ア) 期 日 令和5年5月22日(月)

(イ) 場 所 兵庫県民会館

(ウ) 内 容 講演 予測困難な時代における社会教育の在り方

講師 今西 幸蔵 氏

(高野山大学教育学科主任兼特任教授)

(エ) 参加者 100名

イ 兵庫県社会教育研究大会

(ア) 期 日 令和5年11月29日(水)

(イ) 場 所 兵庫県民会館

(ウ) 内 容 講演 子ども・若者の居場所とは

～ユースワークの視点を活かしたサードプレイス～

講師 辻 幸志 氏

(特定非営利活動法人こうべユースネット理事長)

分科会

・第1分科会(学校・家庭・地域の協働：西播磨地区)

発表 「地域学校協働活動～学校と地域を結ぶ～」

・第2分科会(地域づくり：丹波地区)

発表 「地域おこし協力隊の活動から考える地域づくり」

・第3分科会(地域づくり：淡路地区)

発表 「志知城跡での取組について」

(エ) 参加者 101名



講演



分科会

ウ 近畿地区社会教育研究大会(滋賀大会)

(ア) 期 日 令和5年9月8日(金)

(イ) 会 場 立命館大学びわこ・くさつキャンパス

エ 全国社会教育研究大会(宮崎大会)

(ア) 期 日 令和5年11月8日(水)～10日(金)

(イ) 場 所 宮崎市民文化ホール

(2) 兵庫県公民館大会

490千円

公民館関係者等が集い、交流することにより、公民館運営のより一層の充実を図るため県大会の開催を支援する。

ア 期 日 令和5年11月24日（金）

イ 会 場 兵庫県いなみ野学園 ※Webの併用開催

ウ 対 象 公民館職員、公民館運営審議会委員、社会教育委員、公民館関係者、社会教育・生涯学習行政職員、学校関係者、地域づくりに関心のある方等

エ テーマ 「地域の“幸”民館を目指して

～全ての人のウェルビーイングのために公民館が出来ること～

オ 内 容 基調講演 講師 平田 オリザ 氏（芸術文化観光専門職大学学長）

演題 文化による社会包摂

パネルディスカッション ※オンライン含む

テーマ「地域の“幸”民館を目指して～全ての人のウェルビーイングのために公民館が出来ること～」

登壇者

①ファシリテーター

大本 晋也 南あわじ市 学ぶ楽しさ支援センター 所長

②パネリスト

村田 弘之 京丹波町教育委員会課長兼中央公民館 館長

馬場 一博 海南市中央公民館 館長

清原 弘章 （公財）奈良市生涯学習財団中部公民館 館長

天野 和彦 福島大学 人間発達文化学類 特任教授

宮城 潤 那覇市若狭公民館 館長

吉田 百花 島根県立隠岐島前高等学校 2年生

下浦 瑛資 兵庫県立加古川東高等学校 2年生

③全体総評者

牧野 篤 東京大学大学院教育学研究科 教授

カ 参加者 430名 ※オンライン100名含む



パネルディスカッション

3 社会教育主事の養成

県内の社会教育の振興を図るため、人づくりや地域づくりにおいて中核的な役割を担うことが期待される社会教育主事の資質能力の向上を図る。

(1) 社会教育主事講習への派遣

社会教育に関する専門的な助言・指導を行う社会教育主事を養成するため、全国の大学及び国立教育政策研究所社会教育実践研究センターで実施される講習に県・市町の行政職員や教職員等の派遣を行う。

ア 実施主体 社会教育主事講習運営委員会（近畿地区各府県、国立大学、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター）

イ 実施内容 講義やグループ演習、宿泊研修等による専門的な知識、技能の修得

ウ 実施場所・日程

(ア) 滋賀大学 令和5年7月15日（土）～8月23日（水）

(イ) 岡山大学 令和5年7月24日（月）～8月10日（木）

(ウ) 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

[A] 令和5年7月11日（火）～8月30日（水）

[B] 令和6年1月12日（金）～2月16日（金）

※ 全ての講習で、一部オンライン研修を実施

エ 令和5年度受講者 23名

(2) 社会教育主事等研修の実施

社会教育支援者としての資質の向上を図るとともに、社会教育に携わる職員のネットワークを構築するため、県内の社会教育主事等を対象に協議及び情報交換を行う研修会を開催する。

ア 対象 市町・教育事務所の社会教育主事・社会教育関係職員等

イ 期 日 令和6年2月

ウ 会 場 神戸市内

エ 内 容 調整中

4 障害者の生涯学習の推進

10,312千円

(1) 「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム

障害者の生涯学習を支える持続的・総合的なネットワークの構築をめざし、関係機関が連携して研究・協議する会議を開催する。

- ア 構成団体 大学、特別支援学校、社会福祉法人、民間団体・事業所、
公民館、県・市行政関係機関 21団体

イ 内 容

(ア) 調査・実践研究

- a ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト（障害のある人の博物館等利用促進に関する取組）

博物館等を利用している障害者の割合が低い実態を踏まえ、障害者が施設を訪問し提案や意見交換を行うことを通じて改善を図るために実施

令和5年度実施施設（14施設）

県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立考古博物館、
県立考古博物館加西分館、兵庫陶芸美術館、県立円山川公苑美術館、
県立兵庫津ミュージアム、人と防災未来センター、横尾忠則現代美術館、
明石市立文化博物館、多可町立杉原紙研究所

たつの市立龍野歴史文化資料館、丹波篠山市立歴史美術館

令和4年度実施施設（7施設）

県立人と自然の博物館、県立考古博物館、神戸華僑歴史博物館、
伊丹市昆虫館、明石市立文化博物館、丹波篠山市立歴史美術、
豊岡市立歴史博物館

<実施後の改善例>

- ・トイレの照明スイッチ等への蓄光テープの貼付
- ・筆談用電子ボードの設置や利便性の高い場所への移動
- ・車いすユーザーが利用できるように体験コーナーの作業台の高さを調整
- ・イベント情報等の周知方法の改善

- b 学びの場を検索するアプリの開発及び充実
登録件数115件（R5.12月現在）

(イ) 普及啓発

- ・啓発リーフレットの作成
- ・特別支援学校での学び場検索アプリ利用促進

(ウ) 人材育成

- ・障害者の生涯学習を支援する者を育成する研修会の実施

ウ 会 議

- 第1回 令和5年7月5日（水）
第2回 令和5年8月31日（木）
第3回 令和6年1月17日（水）



学び場検索アプリ

(2) 共に学び、生きる共生社会コンファレンス

障害理解の促進や、支援者同士の学び合いによる学びの場の担い手の育成、障害者の学びの場の充実を図るため、学びの場づくりに関する好事例の共有・実践交流、障害者の生涯学習活動に関する研究協議等を行う。

ア 期 日 令和5年10月7日（土）

イ 会 場 神戸大学鶴甲第2キャンパス人間発達環境学研究所

ウ テーマ 障害のある人が、いつでも、どこでも学べる社会をめざして

エ 内 容 講 演 美術を楽しもう！～対話を基本とした美術鑑賞を通して～

講 師 神戸大学大学院人間発達環境学研究所 勅使河原 君江 氏

実践発表 ① 当事者による発表

ダンデライオンズ（障害のある選手による軟式野球チーム）

② 支援者による発表

朝来市オープンカレッジ

オ 参加者 県内及び近畿地区の障害者の学びに関心のある人、学びの支援者・障害者本人、関係者等 103名



ダンデライオンズによる実践発表



意見交流

(3) 身体障害者社会学級

身体障害者に社会人としての幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得するとともに、地域住民やボランティアとの交流を通して相互理解を深め、障害者の生涯を通じた多様な学習活動を支援する。

ア 青い鳥学級

- (ア) 対 象 視覚障害者
- (イ) 学 級 数 6学級8教室(275名)
- (ウ) 内 容 小学校における交流事業、歴史講座、
スポーツ推進員との交流事業、民謡教室、
そば打ち体験、健康体操 等
- (エ) 開 設 地 6地区



音楽講座(青い鳥学級)

イ くすの木学級

- (ア) 対 象 聴覚・言語障害者
- (イ) 学 級 数 6学級7教室(172名)
- (ウ) 内 容 料理教室、小物づくり、
ニュースポーツ体験、社会見学 等
- (エ) 開 設 地 6地区



スポーツ活動ボッチャ体験
(くすの木学級)

ウ たけのこ学級

- (ア) 対 象 肢体不自由者(進行性筋ジストロフィー症者)
- (イ) 学 級 数 1学級(90名)
- (ウ) 内 容 アレンジフラワー、音楽教室、園芸講座、茶道講座、
パソコン講座 等
- (エ) 開 設 地 独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院

5 ひょうご子どもの読書活動推進計画の策定

子どもたちに本への関心を高め、読書習慣の定着を図るため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」及び国の「第5次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」に基づき、「ひょうご子どもの読書活動推進計画(第5次)」を策定する。

- ・策定予定時期 令和6年3月
- ・計画期間 令和6年～10年度(5年間)
- ・ひょうご子どもの読書活動推進計画(第5次)検討懇話会
 - 第1回 令和5年8月30日(水)
 - 第2回 令和5年12月22日(金)
 - 第3回 令和6年2月

6 ひょうごっ子ココロンカード（博物館等無料開放）事業

582千円

児童・生徒の学校外活動の促進を図るため、小・中学生を対象に県内博物館等の無料開放を行う。

(1) ココロンカードの配布

- ・配布時期 小学校入学時（中学校卒業まで継続使用）
- ・配布枚数 59,700枚（797校）

(2) 対象施設数

203施設（令和5年5月1日現在）

うち、県立施設（15施設）

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| ・美術館 | ・歴史博物館 | ・人と自然の博物館 |
| ・考古博物館 | ・考古博物館加西分館 | ・円山川公苑美術館 |
| ・兵庫陶芸美術館 | ・人と防災未来センター | ・フラワーセンター |
| ・舞子海上プロムナード | ・淡路夢舞台温室 | ・横尾忠則現代美術館 |
| ・兵庫県木の殿堂 | ・但馬牧場公園 | ・兵庫津ミュージアム |



ココロンカード

II 社会教育施設の充実

【各施設共通】

1 ひょうごプレミアム芸術デーの開催 9,895千円（うち教育委員会分1,400千円）

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県内芸術文化施設を無料開放するとともに、障害のある方や子育て中の方等にも配慮し、誰もが楽しめる取組を実施する。

(1) 期 間 令和5年7月11日（火）～17日（月・祝）【7日間】

(2) 対 象 89施設

（うち教育委員会所管施設 7施設）

県立美術館、県立人と自然の博物館、県立コウノトリの郷公園、県立歴史博物館、
県立考古博物館、県立考古博物館加西分館（古代鏡展示館）、
県立円山川公苑美術館

(3) 内 容

- ・芸術文化施設の無料開放
- ・オープニングイベントの開催（7/11 県立美術館）
- ・障害者や子育て家庭等に配慮した取組の実施
（一時保育、自由に話せる観覧日、触れる展示、手話・要約筆記付き解説会 等）

2 HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクトの実施

1,900千円（うち教育委員会分1,400千円）

2025年大阪・関西万博を契機に、ボランティア大学生等（ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズ）の柔軟で斬新な発想力や多様な発信力を活用し、県立社会教育施設の魅力発信や活性化を図る取組を企画・提案・実施する。

(1) ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズ 40名（令和5年11月末現在）

※主な在籍校 県立大学、芸術文化観光専門職大学、神戸女子大学、神戸大学、
武庫川女子大学、関西学院大学、大手前大学、流通科学大学 等

(2) 内 容

ア 事業推進会議の開催（7/27）

有識者を交えて、効果的な広報について検討

イ サポーターズ全体会議（9回実施）

取材内容やSNSの活用方法等、今後の具体的な取組
について検討

ウ Instagramやnote等SNSによる魅力発信

各施設の取材後、SNSを活用して画像やコラム等による魅力発信

エ 各施設において、サポーターズが企画提案した取組を実施

(3) 対 象

県立美術館、県立人と自然の博物館、県立コウノトリの郷公園、県立歴史博物館、
県立考古博物館（加西分館を含む）、兵庫陶芸美術館、横尾忠則現代美術館、
兵庫津ミュージアム



サポーターズ全体会
「目を惹くタイトルの付け方とは」



Instagram QRコード



note QRコード

【社会教育施設】

1 県立美術館－「芸術の館」－の運営

862,874千円

所在地：神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

設置年度：昭和45年度（県立近代美術館）

平成14年4月開館

設置目的：美術に関する県民の知識及び教養の向上を図るとともに、芸術文化の振興を図る。

利用状況：令和5年度 429,633名（11月末現在）
（令和4年度 320,287名）



※ 王子分館（芸術文化課所管）

- ・原田の森ギャラリー
- ・横尾忠則現代美術館（平成24年11月開館）

(1) 特別展

優れた近・現代美術を中心に、兵庫県にゆかりの深い美術家の作品紹介や、館の研究による新しい視点や価値を示す展示等を行う。（令和5年11月末現在）

展覧会名	開催期間	観覧者数
恐竜図鑑 -失われた世界の想像/創造	R5. 3. 4～5. 14(62日間)	46,638名
出会いと、旅と、人生と。ある画家の肖像 日本近代洋画の巨匠 金山平三と同時代の画家たち	R5. 6. 3～7. 23(44日間)	11,904名
Perfume COSTUME MUSEUM	R5. 9. 9～11. 26(68日間)	56,306名
生誕120年 安井仲治－僕の大切な写真	R5. 12. 16～R6. 2. 12(50日間)	—
スーラージュと森田子龍	R6. 3. 16～5. 19(62日間)	—



Perfume COSTUME MUSEUM



生誕120年 安井仲治－僕の大切な写真

(2) コレクション展

特定のテーマに基づき、他館からの借用も含めつつ、主に館収蔵作品を県民に広く公開することを目的とした展示を行う。
(令和5年11月末現在)

展覧会名	開催期間	観覧者数
2023年コレクション展Ⅰ 【特集1】虚実のあわい 【特集2】中国明清の書画篆刻—梅舒適コレクションの精華—	【特集1】 前期：R5. 1. 21～R5. 4. 9 後期：R5. 4. 29～R5. 7. 23 【特集2】 前期：R5. 1. 21～R5. 2. 19 後期：R5. 2. 28～R5. 4. 9	28,093名
2023年コレクション展Ⅱ 【特集展示】Welcome！新収蔵品歓迎会 【小企画】「美術の中のかたち—手で見ると造形遠藤薫 眼と球」	R5. 9. 9～R5. 12. 24	18,425名
2023年コレクション展Ⅲ 【特集展示】美術の中の物語 【小企画】生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西冷名家—	R6. 1. 13～R6. 4. 7	—

(3) 2023県展

県内で制作活動に励むアマチュアの作品発表の場、新進美術家の登竜門として公募にて作品を集め展示を行う。

ア 場所 原田の森ギャラリー

イ 期間 R5. 8. 5～8. 19

ウ 参加者 598名

(4) 様々な芸術との融合事業 (令和5年11月末現在)

事業名	回数	入場者数
ミュージアム・コンサート等	15	1,557名
舞台芸術等	4	274名
シネマサロン等	8	881名
計	27	2,712名



ミュージアム・コンサート(美術館の調べ)

(5) 館長トーク (令和5年11月末現在)

各界からゲストを招き、美術館の中長期的な課題について一緒に考えるトークセッションシリーズを開催する。

ゲスト名	実施日	参加人数
津上みゆき (画家)	R5. 7. 12	123名
福武総一郎 (福武財団名誉理事長)	R5. 9. 12	114名
倉方俊輔 (建築史家)	R5. 10. 15	61名
木下直之 (静岡県立美術館長)	R5. 11. 19	79名
岡野晃子 (映画監督)	R5. 12. 16	—
藤本由紀夫 (アーティスト)	R6. 2. 3	—
松尾恵 (ヴォイスギャラリー代表)		
計		377名



「福武総一郎さんにきく」

(6) 学校教育との連携（令和5年11月末現在）

県内外から学校団体を受け入れ、児童生徒等を対象に常設展においてギャラリートークを行うなど、美術鑑賞教育を通じて児童生徒の感性を豊かに育み、芸術文化に対する関心を深める。

実施校数 138校 計 7,282名

(7) アウトリーチ事業（令和5年11月末現在）

ア 出前授業

県内の小中学校へ学芸員を講師として派遣し、美術鑑賞の魅力を学習させるとともに、美術館活動の紹介を行い、児童・生徒に展覧会鑑賞の楽しさを伝える。

実施校数 7校（16回） 計 573名

イ 美術講座

日本画、洋画等の描画指導や美術鑑賞講座を実施

講座数 16講座（1回30名定員） 計 422名

ウ 福祉施設等への出前講座 9回

(8) ネットミュージアム兵庫文学館

ネットを通して県内各地に散在している豊富な文学関係資料等を紹介することによって、いつでも、誰でも、どこでも楽しく学ぶことができる学習資源・機会の提供を行う。

- ・ 常設展示 「作家」「地域」「時代」に分け、兵庫ゆかりの作家や文学を紹介
- ・ 企画展示 兵庫ゆかりの作家の作品概略、時代背景、作家の生い立ちなどを紹介
- ・ 兵庫ゆかりの文学の理解を深める「兵庫文学館検定」を実施

(9) ミュージアムロードによる周辺地域の活性化

H22年に横尾忠則現代美術館・王子動物園から県立美術館までの道路を「ミュージアムロード」と名付け、地域の内外から多くの人々が自然と集まる魅力あふれる文化ゾーンにする取組を展開する。

- ・ なぎさ夏祭り (R5. 8. 19)
ブース出店（配布広報物 特別展チラシ、美かえる折り紙、美術館広報誌 等）
- ・ 1 DAY JAZZ ROADの開催 (R5. 11. 4)
県立美術館ステージにてプロミュージシャンや高校生ビッグバンドによる演奏



なぎさ夏祭り



1 DAY JAZZ ROAD

2 県立人と自然の博物館の運営

336,253千円

所在地：三田市弥生が丘6
 設置年度：平成4年10月開館
 設置目的：自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然の調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与する。



利用状況：令和5年度 663,848名（11月末現在）
 （令和4年度 755,229名）

(1) 企画展示等

（令和5年11月末現在）

展示名	開催期間	入場者数
（企画展）六甲山のキノコ展 2023 ～地球はキノコで出来ている～	R5. 2. 11～R5. 5. 21 【86日間】	29,360名
（企画展）妖怪と自然の博物展	R5. 7. 1～R6. 1. 9 【159日間】	63,757名

(2) セミナーの開催

自然・環境に関する県民参加型の各種セミナー

（令和5年11月末現在）

名称	内容	回数	延べ参加者数
一般セミナー	多彩な専門的学習プログラム	199	2,298名
オープンセミナー	楽しく参加できる易しいプログラム	641	32,879名
特注セミナー	来館団体の要望に応じて企画するプログラム	175	8,737名
計		1,015	43,914名

（セミナーの一例）

「ジーンファーム見学会」、「アンモナイトの断面標本を作ろう」、
 「昆虫を食べる！ー日本と世界の昆虫食文化を知る」、「雨庭のつくりかた」、
 「おうちでコーヒーを焙煎しよう!」、「海の温暖化」、「標本のミカタ」
 「あなたの知らないカメムシの話」、「爬虫類の体を見てみよう」、
 「地学ハイキング～仁川から甲山～」、「大空を目指した恐竜たち」など



「妖怪と自然の博物展」
お菊虫とジャコウアゲハ蛹



「標本のミカタ」
稲原コレクション

(3) 移動博物館車「ゆめはく」の運用

人博から遠方の幼稚園や保育園等、特に地方部へ出張し、小学校や環境教育の充実を図るため、展示・学習設備等を備えた移動博物館車「ゆめはく」により、アウトリーチ活動を一層の充実を図る。

ア 回数 43回（令和5年11月末現在）

イ 参加者 7,382名

ウ 行き先

- ・学校9（小学校）
- ・幼稚園5、保育園7、認定こども園8
- ・その他社会教育施設13
- ・商業施設（道の駅等）1

※県内 41回、県外 2回（大阪府、岡山県）
県内 県立図書館、リフレッシュパーク市川、尼崎市都市緑化植物園 等
県外 吹田市立博物館（大阪府）、赤磐市中央図書館（岡山県）



移動博物館車「ゆめはく」

(4) 地域研究員等の活動支援

セミナー受講者等で、地域の自然環境の研究、学習活動に取り組む個人・グループのうち一定レベルにあるものを「地域研究員」等として認定し、研究発表の場「共生のひろば」の開催、施設の利用など、自主的な研究活動を促進する。

ア 地域研究員 57名

イ 連携活動グループ18（約288名）（令和5年11月末現在）

(5) 篠山層群化石の活用

- ・地域活性化を目指す人材育成システム構築事業

篠山層群から産出される貴重な化石の剖出（クリーニング）作業を促進し、化石資料を有効に活用するための地域人材を安定的に育成していく体制づくりを推進する。

ア 剖出作業の促進体制

- ・主任剖出技師 1名
- ・化石整理技術指導員 1名
- ・剖出技師 5名

イ 市民ボランティアの養成（令和5年11月末現在）

- ・市民化石剖出ボランティアの養成研修
登録人数 44名、参加人数のべ1,320名
- ・市民石割調査ボランティアの養成研修
登録人数 159名、参加人数のべ1,421名、調査日数 240日間
- ・化石専門指導員の認定
認定数 24名



化石の剖出作業

篠山層群化石について

【経緯】

平成18年に地元愛好家が篠山川河床において発見し、人と自然の博物館において鑑定した結果、前期白亜紀（約1億1000万年前）の恐竜化石であると判明した。

その後、平成19年1月から数度の発掘調査が行われている。

【成果】

大型草食恐竜の「丹波竜」は、ティタノサウルス形類の新属新種であることを人と自然の博物館が平成26年8月12日に論文発表した。「タンバティタニス・アミキティアエ」（丹波の女巨人・友情）と学名（当時、国内5例目）を付けた。

(6) コレクショナルリウムの活用

令和4年10月に開館したコレクショナルリウムにおいては、標本・資料の収蔵機能と展示ギャラリーなどを併設した「まちにひらかれた収蔵庫」として、標本を活かした体験プログラムやデジタル画像を利用した展示を行う。

延床面積：1,508.78㎡

- ・ 展示ギャラリー
- ・ コレクションルーム
- ・ 標本制作室
- ・ 施設スペース等

入館者数：79,739名

- ・ 令和4年10月～3月末 28,092名
- ・ 令和5年度（11月末現在） 51,647名



コレクショナルリウム外観



本剥製室(鳥類標本)

3 県立コウノトリの郷公園の運営

86,902千円

所在地：【コウノトリの郷公園】豊岡市祥雲寺128
 【附属飼育施設保護増殖センター】豊岡市野上1314-1

設置年度：平成11年11月開園（4月一部供用開始）
 設置目的：特別天然記念物であるコウノトリを保護し、その種の保存を図るとともに、豊かな自然の中で、コウノトリその他の野生生物と共存できる、人と自然の調和した環境の創造について県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与する。



郷公園公開ケージ

利用状況：令和5年度 56,941名（11月末現在）
 （令和4年度 86,278名）

コウノトリの保護・増殖と野生化の取組

(1) 野生化に向けた研究

- ア 鳥類及びその生息環境（河川流域・植物生態）
- イ コウノトリと人間社会との関係性
- ウ 繁殖・育雛技術
- エ 衛星追跡システムによる個別追跡調査



育雛の様子（祥雲寺巣塔）

(2) 保護・増殖と野生化の実績（令和5年11月末現在）

- ア 飼育個体 92羽（コウノトリの郷公園）
- イ 野外個体 372羽
- ウ 野外繁殖実績（令和5年）

兵庫県 巣立ち個体数 45					
豊岡市	37羽	養父市	3羽		
朝来市	1羽	淡路市	1羽		
稲美町	3羽				
兵庫県外 巣立ち個体数 60					
徳島県鳴門市	3羽	[H29～ 7年連続]	島根県雲南市	3羽	[H30～ 5年連続]
鳥取県八頭町	4羽	[R4～ 2年連続]	鳥取県北栄町	2羽	[R4～ 2年連続]
京都府京丹後市	6羽	[H30～ 6年連続]	京都府綾部市	9羽	[R2～、4年連続]
福井県越前市	6羽	[R2～ 4年連続]	福井県小浜市	3羽	[R3～、3年連続]
福井県鯖江市	4羽	[R4～ 2年連続]	石川県志賀町	3羽	[R4～ 2年連続]
石川県津幡町	2羽	[R5 新]	栃木県小山市	2羽	[R2～、4年連続]
佐賀県白石町	2羽	[R5 新]	広島県世羅町	3羽	[R5 新]
茨城県神栖市	4羽	[R5 新]	茨城県行方市	3羽	[R5 新]
香川県まんのう町	1羽	[R5 新]			

～～ 令和5年のトピックス ～～

1 野外個体数の増加

- (1) 日本全国で372羽に
巣立ち個体105羽を含め、国内の野外個体数が372羽になった。(令和5年11月末現在)
- (2) 巣立ちヒナ数過去最高
繁殖地の広がりとともに、野外での巣立ち個体数は、兵庫県内45、県外60、計105となり、令和4年の計80を超えて最多となった。

2 繁殖分布の拡大

- (1) 新たに3県5巣で繁殖
広島県、香川県、茨城県で初めての繁殖があり、全国12府県49巣に広がった。
(兵庫県では稲美町で初繁殖を確認)
- (2) 九州地方で初めての巣立ち
佐賀県白石町では、昨年、初めて繁殖しふ化したものの、巣立ちには至らなかった。
今年は、2羽の幼鳥が元気に育ち、九州地方において初めての巣立ちを迎えた。

(3) 普及活動、環境教育 (令和5年11月末現在)

講座等	回数	延べ参加者数
郷公園体験講座	5	1,015名
環境学習実践講座	2	13名
ガイドウォーク	46	649名
特別観察会	6	923名
学校等への出前講座	16	1,197名
計	75	3,797名



郷公園体験講座(給餌体験)

(4) コウノトリ野生化対策懇話会

コウノトリの野生化に必要な学術分野(動物生態学、河川生態学、遺伝学、獣医学等)の研究者により協議を行い、本格的野生復帰を推進する。

ア 委員 9名

イ 期日 令和5年12月20日(水)

ウ 内容 野外コウノトリの繁殖状況について
コウノトリ野生復帰ランドデザインについて
(12年間の評価と新たな課題)

4 県立図書館の運営

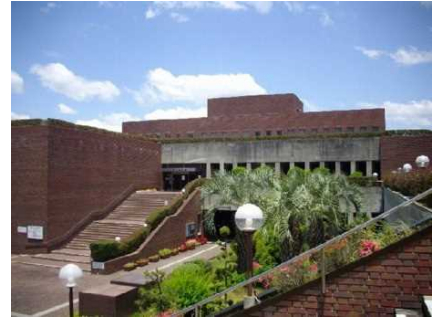
87,939千円

所在地：明石市明石公園1-27

設置年度：昭和49年10月開館

設置目的：県民の教育と文化の発展を図るため、
図書館資料を収集、整理、保存し、
県民の利用に供するとともに、他の
図書館等との相互協力、調査相談を
行う。

利用状況：令和5年 78,434名（11月末現在）
（令和4年度 126,490名）



(1) 貸出業務（令和5年11月末現在）

対象	件数
個人	23,517件
公共図書館等	7,844件

(2) 電子書籍サービス（令和5年11月末現在）

蔵書数	閲覧件数
6,277冊	12,741件

電子図書（専門書等）をパソコン、スマートフォン、タブレットから、利用可能
※R5.4からサービス開始 利用には図書館の利用者登録が必要

(3) レファレンスサービス（調査相談）（令和5年11月末現在）

件数	5,030件
----	--------

※利用者等の求めに応じ、図書館所蔵資料や各種情報の提供等通じ、調査・研究の
援助をするサービス

※レファレンスの受付方法：来館による面談、電話、文書、メール

(4) ひょうご図書館情報ネットワークシステム(HAL ネット)（令和5年11月末現在）

区分	件数
ホームページアクセス数	162,554件
蔵書検索数	1,418,954件

※館内外の利用者にインターネット等を活用することによって、県内公共図書館
及び大学図書館の蔵書情報やそれに付随する様々なサービスを提供

ア 蔵書情報の公開

イ メールによるレファレンスの受付・回答

ウ 国立国会図書館総合目録ネットワークシステムへのデータ提供

(5) 研修会等（令和5年11月末現在）

事業名	回数	延べ参加者数
図書館等職員研修	3	117名
一般講座	3	123名
連続講座	8	314名
出前講座	2	67名
計	16	621名



新任研修
(蔵書検索入門)

(6) 学校等への支援（令和5年11月末現在）

事業名	回数/校数	参加人数/貸出冊数	内容
学校サポート講座	4回	69名	県立東灘高校、県立三木東高校、淡路市立小中学校教職員、丹有地区高等学校図書館関係職員
団体貸出	13校	815冊	県立学校等へのセット貸出 ※

※教科や分野ごとのテーマに応じた30冊程度の図書セットを学校に送付し、生徒の調べ学習や教員の教材研究などに活用
(テーマ例)「SDGs」「プラスチック問題」「郷土の歴史」「食の安全」等

(7) 企画展示・図書展示（令和5年11月末現在）

展示区分	回数	内容
企画展示	6	「大阪・関西万博」開催まで500日「ホラホラ～君の近くに妖怪が…～この夏、本の世界で怪異体験～」他
図書展示	14	「姫路城の世界文化遺産登録30周年」、「ノーベル賞関連展示」他
連携図書展示	6	「昭和を駆け抜けた写真家たち」「古銭の魅力」他
親子読書室	3	「あなたの生活の中のSDGs」他
ロビー展示	2	「明石高校美術科生徒作品」他
計	31	



学校サポート講座
(県立三木東高等学校)



企画展示
「大阪・関西万博」開催まで500日

(8) 連携事業

図書館夏祭り

ア 期 日 令和5年8月19日(土)

イ 参加者 988人

ウ 連携協力 県立人と自然の博物館…移動博物館車「ゆめはく」、昆虫展示等
日本教育公務員弘済会…メダカのコタロー劇団による環境学習
イベントステージ等

県立加古川東高等学校…高校生による「かがく絵本」の読み聞かせ